

テクノフェア2004を開催しました

技術開発本部では、9月29日(水)~30日(木)の二日間テクノフェア2004を開催いたしました。

今回は“夢を「かたち」に”をテーマに、特設テーマパビリオンにおける集中展示や15カ所の実験棟での研究技術の紹介、さらに関係14社の技術紹介を企画いたしました。

29日の台風21号接近により急遽特設パビリオンを取りやめ、エネルギー応用研究所建物を始め各実験棟へ場所を変更させていただきました。それにも関わらず、地域各界のオピニオンリーダーや各企業・研究団体のみなさまに、2日間合計で2,360人の来場をいただき、感謝しております。当社技術力の理解促進、大学関係者等各種専門分野の有識者との交流を通じた産学連携の強化、大口のお客さまを始めとする企業のみなさまへの技術紹介・活用促進にたいへん成果があったものと考えています。

来場者内訳

行政、地域関係者	230名
大学関係者、学生	400名
一般企業	1,040名
当社社員、関係会社	690名
合計	2,360名

来場されたお客さまからは
研究成果が順次実用化につながってきておりわかりやすくよかった。

研究者の説明が丁寧でわかりやすかった。

グループ会社の技術紹介のよい機会となった。

などの評価をいただきました。

また、東海ものづくり創生協議会(中部経済産業局地域経済部企業育成総合支援室の協力)が同時開催され、他企業との連携協力に新たな道筋ができました。今後もより良いフェアとしていくつもりですので、次回も多数のみなさまのご来場をお待ちしております。



西館入口



超電導実験棟の展示風景



東海ものづくり創生協議会

名古屋大学寄付研究部門設置に対して感謝状を受ける

このたび、名古屋大学が主催した寄付研究部門創設記念式典において、同大学に設置した寄付研究部門「エネルギーシステム(中部電力)寄付研究部門」に対し、平野総長から感謝状が贈呈されました。(8月31日)

本寄付研究部門では、次世代電力システム技術の研究教育拠点の形成を目指している名古屋大学で、「エネルギーと環境問題」をテーマに、大局的な視点で研究に取り組んで頂いています。この研究活動は、学術振興・工学教育に貢献するとともに、本テーマに対する社会の理解促進や啓蒙に寄与し、当社事業の側面的な支援に役立つものと大いに期待しています。



感謝状を受ける清水本部長